

様々な価値観を伝えたい

全国大会を目指す高校ダンス部を取り上げたドキュメンタリーが、テレビで放映されているのを目にした。多くの学校が選抜された部員で、全国大会を目指していた。その中で、全部員で全国大会を目指す高校があった。残念ながら今年は、予選落ちをしてしまった。

本校の運動部は、今月23日に小学校体育大会（球技の部）に参加した。球技は試合に出ることができる人数が決まっているため、全員参加とはいかない。それでも、全員の心がひとつになっているのを感じることができた。たとえ試合に出ることができなくても、必死になって応援をしている子供の姿を見ることができたのである。この姿は、子供たち

だけではない。保護者の方々の中には、自分の子供が試合に出ることがなくても、応援に駆けつけてくださる人もいる。こうした大人の姿が、試合に出場する価値だけでなく、仲間とともに練習をしてきたことへの価値を高め、子供たちの素敵な姿を引き出してくれているのだろう。

「選手でもないのに、うちの子は、どうしてあんなにがんばるのでしょうか？」と、ネット上に投稿されているコメントを、目にしたことがある。子供たちに多様な価値を伝えるために、物事を多面的に見ていきたいものである。



丁寧さや温かさで社会を築く

今年は、多くの台風が発生している。愛知県でもすでに2度の暴風警報が発令された。台風通過後、登校指導に行くとき、さぞかしごみが散乱していることと想像していた。ところが、予想していたほど、ごみが落ちていない。その理由のひとつは、自宅の周辺を掃除されている方がいたことにある。そしてもうひとつの理由は、風があまりにも強く、ごみが吹き飛んでしまっていたのである。しかし、ごみは無くなっていただけではなかった。田畑の中や吹き溜まりに目を向けると、やはりごみが・・・。

大きな力で強引に、問題を解決したとき、それでうまくいくこともあるだろう。しかしながら、解決したように見えても、実は陰で不満が渦巻いていることがある。

現在、年齢や性別、国籍や民族、障害の有無などにかかわらず、誰もが等しく暮らしやすい社会の実現を目指す、「ユニバーサルデザイン」という考え方が広がってきた。この考え方に、誰もが賛同する世の中であってほしいと願う。こうした社会の実現に向けても、台風のような強引さではなく、ごみを拾われていた方のような丁寧さや温かさで、物事を解決できる力を大切にしていきたいものである。

